

 取組概要

- 庁内において男女共同参画を推進するため、男女共同参画に関する会議や研修を実施
- 入庁3年目の職員に対して防災士養成研修を実施
- 災害対応は性別に関わらず全員が行う業務であるという意識が全庁的に高まり、防災関係部署の女性職員の割合が庁内の男女比率に近づいている(約30%)

取組のきっかけ

『全ての職員が、災害対応に取り組めるようにしたい！』

高知市として、市全体の女性職員の割合が増えてきており、職員の男女比は半々だった。



庁内における男女共同参画の推進や、入庁3年目職員全員に対する防災士養成研修を実施してきたことで、全庁的に男女共同参画や防災に関する意識が高まった。

女性も防災分野に参画することが当たり前になり、防災部局にも他の部局と同様に女性職員が配属され、女性職員の割合が約30%に。

防災部局と男女共同参画部局が連携しながら、あらゆる部署の職員が性別に関わらず災害対応に取り組めることを目指そう！



1 それぞれの研修により、**全職員の男女共同参画と防災の意識を浸透!**

庁内における男女共同参画推進体制

1. 市長を本部長に据え、**階層別に組織を設け**、それぞれで男女共同参画に関する会議を実施している
 - **年2回、本部会会議**を実施し、計画や活動実績などの報告を行っている
 - **若手・中堅の職員を集めてチームを作り**、研修を受講してもらい、**テーマに関する取組と成果発表**を行っている

こんな
いいことが
あった!



男女共同参画の意識が浸透してきており、防災会議の充て職以外の幹事に**女性職員を推薦**するよう協力してもらえた!

全庁的に意識を
アップデート!



防災士養成研修

2. 入庁3年目の全職員に対し、**防災士養成研修を実施**している
 - 防災士資格を取得した2年後には、**スキルアップのためのフォローアップ研修を実施**している

これをやったら
うまくいった!



防災士の資格や
防災の知識を持つ
女性職員が増えてきた!

フォローアップ研修で
スキルアップも!



2 あらゆる部署の職員が災害対応に取り組めるよう、事前に対策！

防災に関する周知

1. 採用の段階から、研修等の機会を通じて、**あらゆる部署の職員が性別に関わらず災害対応に取り組むべきであることを伝えている**
- いざというときに備え、**子どもなどの預け先を確保しておくよう周知している**

こんな
いいことが
あった！



全ての職員が災害対応に関わることへの意識が高まり、**防災部局に女性職員が配置されることが当たり前になった！**

全職員が災害時
にも働きやすい
ように改善！



負担の軽減

2. 避難所の開設頻度によって特定の職員に負担が偏ることを防ぐため、**複数の避難所を十数人で担当**することで交代できるように改善を行った

これをやったら
うまくいった！



職員から上がった**避難所運営等に関する意見を**防災部局が吸い上げ、**解決に向けて丁寧に対応することで、災害対応を行う職員の負担の軽減や不安の解消につながった！**